

○推進指標の具体的数値設定（例）

施策の方向	指標名	参考 (H20年度)	中間目標 (H24年度)	目標 (H26年度)	設定根拠、理由
1	食の安全安心総合ホームページ閲覧件数	32,650件	35,000件	38,000件	現行ホームページの件数 閲覧数増により情報提供充実の指標 となる
	メールマガジン登録者数	0人	1,000人	2,000人	現状は未実施 登録者増により情報提供充実の指標 となる
	食品関連情報の提供件数	213件	210件	210件	緊急食品情報発出数 提供数維持により情報提供活動の指 標となる
	人口10万人あたりの食中毒患者数	41.2人	30人	20人	食中毒事件集計値 患者数減により予防啓発効果の指標 となる
2	相談窓口における相談受付件数	257件	250件	250件	各保健所集計値 件数維持により相談活動状況の指標 となる
	県政出前講座、出前相談室実施件数	11件	15件	20件	各保健所集計値 件数増により相談活動充実の指標と なる
3	農業適正使用講習会・研修会の開催回数	173回	170回	170回	各地方局産業振興課・支局産地育成 室実施回数 生産者に対する農業適正使用の啓発 活動の指標となる
	農業立入検査実施件数	339件	300件	300件	各地方局産業振興課実施件数 農薬販売者や使用者に対する立入検 査の実施状況の指標となる
	出荷前の農産物の残留農薬分析件数	298件	300件	300件	農林水産研究所分析件数 出荷前農産物の残留分析による安全 性の確認状況の指標となる
	生産者、飼料販売店、動物医薬品販売店巡回 件数	857件	850件	850件	各家畜保健衛生所集計値 動物医薬品や飼料添加物の周知理解 の指標となる
	牛耳標装着率	100%	100%	100%	各家畜保健衛生所集計値 牛のトレサビリティ法の遵守状況の 指標となる
	養殖衛生管理指導を行った養殖経営体数の割 合	70.3%	70%	70%	水産課集計値 割合維持により、養殖事業者指導状 況の指標となる
	貝毒検査の予定件数に占める検査件数の割合	100%	100%	100%	水産課集計値 割合維持により、貝毒検査実施状況 の指標となる
4	エコファーマー取組面積	908ha	1,200ha (H22)	-	認定者の集計値 環境保全型農業の推進活動の指標と なる 目標はH22年度で、県環境保全型農業 推進基本方針において設定している
	有機農業取組面積	365ha	570ha (H22)	-	関係機関・団体からの集計値 有機農業の推進活動の指標となる 目標はH22年度で、県環境保全型農業 推進基本方針において設定している
	安全安心な農畜産物生産に関する開発技術の 数	1	4(延べ)	6(延べ)	畜産研究センターの技術開発数 消費者ニーズに応えた生産の取組の 指標となる
	畜産関係生産者巡回戸数	737 (全戸)	全戸	全戸	各家畜保健衛生所巡回戸数集計値 関係法令の生産者への周知理解の指 標となる
	高病原性鳥インフルエンザ検査羽数	980羽	対象鶏全羽	対象鶏全羽	各家畜保健衛生所検査集計値 生産現場での予防による安全安心な 生産への取組の指標となる
5	農林水産参観デー開催回数	8回	8回	8回	畜産研究センターでの開催数 消費者に農畜産業への理解を深めて もらう指標となる
	ふれあい牧場等の開催回数	46回	50回	50回	関係機関・団体からの集計値 消費者に農畜産業への理解を深めて もらう指標となる
6	愛媛県食品衛生監視指導計画に基づく施設監 視達成率	22,977件 (監視件数)	100%	100%	監視件数集計値 監視率維持により監視活動状況の指 標となる
	食品等の収去検査による規格基準違反率	0.66%	0.50%	0.30%	収去検査集計値 違反率減により監視活動効果の指標 となる
7	食品衛生責任者講習会受講率	66.4%	80%	100%	講習会受講者数集計値 受講率増により周知啓発活動の指標 となる

施策の方向	指標名	参考 (H20年度)	中間目標 (H24年度)	目標 (H26年度)	設定根拠、理由
8	食品自主衛生管理認証制度における認証施設数	0施設	10施設	20施設	現状は未実施 施設数増により認証制度浸透の指標となる
9	食品表示監視実施数	28,024件	30,000件	32,000件	実施数集計値（関係部局の実施数を合計する必要あり） 実施数増により監視活動充実の指標となる
	食品表示ウォッチャーからの報告に基づく不適切な表示の割合	35.8%	20.8% (H22)	-	実施数集計値 不適正表示率減により監視活動の指標となる
10	地産地消・愛あるサポーター登録数	1,850	2,000 (H22)	-	登録者数集計値 登録者増により普及活動の指標となる
	えひめ食文化普及講座開催回数	57回	50回	50回	県農産漁村生活研究協議会実施回数 食文化の普及推進状況の指標となる
	食育授業開催回数	46回	50回	50回	小学校等での食育授業の集計値 食育推進の指標となる
	学校給食における地場産物の使用割合	27.1% (H19)	30%以上 (H22)	-	学校給食栄養報告書地場産物活用状況数値（品目数ベース） 使用割合の増加により地産地消の推進の指標となる。
11	自主回収情報の提供件数	3件	6件	10件	業務衛生課集計値 件数増により制度の浸透及び情報提供活動の指標となる
12	-				
13	危害情報申出制度対応件数	0件	20件	20件	現状は未実施 件数維持により対応活動の指標となる
14	食品衛生推進員巡回施設数	9,000	9,500	10,000	委託事業報告値 施設数増により協働活動促進の指標となる
15	食の安全・安心県民講座の開催回数、参加者数	3回 278名	4回 400名	5回 500名	講座開催回数等集計値 回数・人数増により活動充実の指標となる
	消費者との意見交換会の実施回数、参加者数	9回 328名	9回 350名	9回 350名	一日食品衛生監視員事業開催件数等 集計値 回数・人数維持により活動状況の指標となる
16	食の安全安心に関するアンケート協力者数	278名	400名	500名	平成20年度食の安全・安心に関するアンケート集計値 協力者増により多数の県民からの意見集約が可能となる